

日本教科内容学会第3回研究大会

開催日程及びプログラム

日本教科内容学会第3回研究大会 開催日程及びプログラム

- 日 程：平成28年7月2日（土）・3日（日）
- 会 場：上越教育大学
- 参加費：会員4000円，学生会員3000円，一般参加（大学教員等）3000円
*当日参加も受け付けます。

第1日目：平成28年7月2日（土）

- 受 付 12:30～13:00
- 開会行事 13:00～13:30（司会：林） ※会場：講義棟301教室
 - 会長挨拶
 - 主催校学長挨拶
 - 大会実行委員長挨拶
- 基調講演 13:30～15:10（司会：林） ※会場：講義棟301教室
 - 文科省の立場から（50分）
山下恭徳（文部科学省初等中等教育局教職員課教員免許企画室長）
講演題目：中教審答申と今後の教員育成施策の展開
 - 研究者の立場から（50分）
小林辰至（上越教育大学教授）
講演題目：「資質・能力」の育成の観点から教科内容構成を捉え直す
-中央教育審議会教育課程部会の議論を踏まえて-
- シンポジウム 15:20～17:50（司会：西村） ※会場：講義棟301教室
テーマ：「教員養成における教科専門の意味を改めて問う2」
シンポジスト
 - 山下恭徳（文部科学省）
 - 林泰成（上越教育大学副学長）
 - 下里俊行（上越教育大学教授）
 - 小澤基弘（埼玉大学教授）
 - 濁川朋也（上越教育大学附属中学校教員）
 - 指定討論者：西園芳信（日本教科内容学会副会長）
- 情報交換会 18:30～20:30 ※会場：上越教育大学食堂
会費：会員4000円，学生会員3000円 *当日の申し込みも受け付けます。

第2日目：平成28年7月3日（日）

- 受 付 9:00～9:30

□一般発表（ポスター発表）9:30～11:30 ※会場：人文棟大講義室 113

- 01 小学校図画工作科における「造形遊び」に係る教科内容学の位相について
秋山敏行（愛媛大学）
- 02 動く模型を用いた教材のいくつかの事例
○伊藤仁一（熊本大学教育学部） 中尾温井（九州大学大学院数理学府）
堀尾直史井（熊本大学大学院教育学研究科、玉名私立玉南中学校教諭）
- 03 生成を原理とする器楽の授業における指導内容の体系
岡寺 瞳（大阪教育大学大学院）
- 04 現代歴史学を反映させた縄文時代教科内容の構想と実践
-教授学習過程研究としての教科内容学研究-
梶原郁郎（愛媛大学教育学部）
- 05 地域の素材が教材となっていく過程 -子どもの生活経験から捉えた教科内容-
小島律子（大阪教育大学名誉教授）
- 06 幼児の総合的な表現にみる教科内容 -幼小接続に向けて-
小林佐知子（畿央大学 非常勤講師）
- 07 中学校社会科における農業・農村学習の位置づけと地域史教材開発
鈴木正行（香川大学）
- 08 初等音楽科教育法における学習指導案作成過程での学生の疑問と教科内容の関連
高橋澄代（京都教育大学非常勤講師）
- 09 教師教育のためのアプローチを「図画工作」の授業から考察する
内藤隆、栗原慶（鳴門教育大学）
- 10 音楽鑑賞における指導内容としての文化的側面の扱い方
-L. パーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』を事例として-
中村愛（畿央大学非常勤講師）
- 11 上越教育大学における小学校教科に関する科目「図画工作」の変遷と教育内容決定プロセスの
特質
○西村俊夫，安部泰井，五十嵐史帆井，伊藤将和井，松尾大介井（上越教育大学）
- 12 模擬授業における科学的な視点からの学び -小学校家庭科食物領域の分析-
○速水多佳子 福井典代（鳴門教育大学）
- 13 図画工作科における「つくりながら考える」造形プロセスを主軸とした授業実践
福井一真（愛媛大学）
- 14 弾き歌いにおける原譜伴奏と簡易伴奏の比較から導かれる指導内容
藤井巳加（畿央大学非常勤講師）
- 15 アメリカシルバー・バーデット社の音楽科教科書『MUSIC』指導書にみる教科内容
溝口希久生（東亜大学）
- 16 STEM および STEAM 教育と教科内容の構成
胸組虎胤（鳴門教育大学）
- 17 デジタルものづくり技術を活用した中学校技術科カリキュラムの構想
○ 山崎恭平，黎子椰（兵庫教育大学大学院 院生，上越教育大学）

□総 会 11:40～12:30 ※会場：講義棟 301 教室

□昼休み（昼食）12:30～13:30 ※お弁当（前日注文）

□課題研究 13:30-15:30 ※会場：講義棟 301 教室

テーマ：「修士課程における教科内容構成に関する科目の開発」

話題提供：発表者（代表）、司会：西村俊夫

- 教科内容構成特論「英語」：野地美幸（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「社会」：下里俊行（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「理科」：中村雅彦（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「音楽」：玉村 恭（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「技術」：東原貴志（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「家庭」：光永伸一郎（上越教育大学）
- 教科内容構成特論「道德」：林 泰成（上越教育大学）

○ 後援団体（予定）新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 上越市教育委員会
妙高市教育委員会 糸魚川市教育委員会 柏崎市教育委員会 上越教育大学

日本教科内容学会第3回研究大会参加案内

会期：2016(平成28)年7月2日(土)～3日(日)

会場：上越教育大学キャンパス
(〒943-8512 上越市山屋敷町1番地)

日本教科内容学会第3回研究大会(上越)に参加される皆さまへ(ご案内)

I 会期・会場

- 1 会期：2016(平成28)年7月2日(土)，3日(日)の2日間
- 2 会場：上越教育大学キャンパス（〒943-8512 上越市山屋敷町1番地）

※研究大会への参加のみで、研究発表をされない方へ

大会当日も参加受付をいたしますが、参加予定の方は、3頁の「Ⅲ 諸手続き」の「表 諸経費一覧」に示した参加費を2016年5月31日(火)までに指定の口座にお振り込み願います。なお、領収書は大会当日の受付時にお渡ししますが、それまで「受領証」等の振込証明書を必ず保管しておいてください。

II 内容

2-1 研究発表(ポスター発表)

会員の研究発表は、ポスター発表のみで行います。以後、ポスター会場で発表する方を「ポスター責任発表者」とし、連名の方を「ポスター連名発表者」とします。

2-1-1 発表方法

- ・発表内容を展示パネルに掲示し、それをもとに個々に発表し討議していただきます。ポスター発表の日時については、2頁を参照してください。
- ・1セッションの時間は、2時間です(在席責任時間は1時間)
- ・各発表には、発表論文集2頁を割り当てます。

2-1-2 発表の要件

- ・「発表論文集への論文掲載」，「ポスターの展示」，「在席責任時間」という3条件をすべて満たすことによって公式発表として認められます。
- ・ポスター連名発表者は会員に限定しません。なお、発表者が欠席した場合は「発表取消」とみなします。
- ・連名発表においてポスター責任発表者が発表できない場合、研究大会実行委員会委員長の承認があればポスター連名発表者が発表を代行できますが、この場合は公式発表として認められない場合があります。
- ・発表者に欠席や交替などの変更があれば、会期前は大会実行委員長へ、会期中は研究大会本部へ連絡してください。

2-1-3 発表資格

- ・会員として研究を発表する方は、2016年4月1日時点で、日本教科内容学会の正会員(以下「会員」と称する)であり、会員は「年会費を原則として3月末日までに前納しなければならない」となっております。
- ・現在未入会の方は、日本教科内容学会事務局へ入会の申込をし、同時に入会金と年会費を納入していなければなりません(「Ⅲ 諸手続き」を参照)。

- ・ポスター責任発表者は発表申込、発表原稿、ならびに参加費を、所定の期日までに送付済みでなければなりません。
- ・ポスター責任発表者になるのは一人一回に限ります。ただし、ポスター連名発表者についてはこの限りではありません。なお、ポスター連名発表者に関しては、プログラム編成上、時間が重なる場合があることをご承知おきください。

2-2 プログラム

第1日目：平成28年7月2日（土）

□受付 12:30～13:00

□開会行事 13:00～13:30（司会：林） ※会場：講義棟301教室

○会長挨拶

○主催校学長挨拶

○大会実行委員長挨拶

□基調講演 13:30～15:10（司会：林） ※会場：講義棟301教室

○文科省の立場から（予定）（50分）

○研究者の立場から（50分）

小林辰至（上越教育大学教授）

□シンポジウム 15:20～17:50（司会：西村） ※会場：講義棟301教室

テーマ：「教員養成における教科専門の意味を改めて問う2」

シンポジスト

○文部科学省から（予定）

○林泰成（上越教育大学副学長）

○下里俊行（上越教育大学教授）

○小澤基弘（埼玉大学教授）

○上越教育大学附属中学校教員（予定）

指定討論者：西園芳信（日本教科内容学会副会長）

□情報交換会 18:30～20:30 ※会場：上越教育大学学生会館第一食堂

第2日目：平成28年7月3日（日）

□受付 9:00～9:30

□一般発表（ポスター発表）9:30～11:30 ※会場：人文棟大講義室113

□総会 11:40～12:30 ※会場：講義棟301教室

□昼休み（昼食）12:30～13:30 ※お弁当（前日注文）

□課題研究 13:30-15:30 ※会場：講義棟301教室

テーマ：「修士課程における教科内容構成に関する科目の開発」

（上越教育大学）

Ⅲ 諸手続き

今回の参加及びポスター発表の申込手続きは、「参加申込書」（別ファイル）にご記入いただき、メールでの申込となります。ポスター責任発表者は、必ず事前参加申し込みをしてください。事前参加申込は、日本教科内容学会会員に限られます。

※ 送付先 3jsssc@juen.ac.jp

3-1 事前参加申し込み

参加及び研究発表の申し込みは、2016年5月31日(火)までに、郵便局窓口で払込票を受け取り、下記口座にお振り込みください。払込額の詳細は下表の通りです。

◎郵便局窓口で払込票を使用

振替口座番号 00510-8-102567

加入者 日本教科内容学会第3回研究大会

なお、お振り込みいただいた諸費用は、原則として返却できませんのでご了承ください。領収書は大会当日の受付時にお渡ししますが、それまで「受領証」等の振込証明書を必ず保管しておいてください。

表 諸経費一覧

| | 種 別 | 参加形態 | ○を付ける | 費 用 |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 大 会 | 正会員 | 参加のみ | () | 4,000 |
| | 正会員 | 参加+発表 | () | 4,000 |
| | 学生会員 | 参加のみ | () | 3,000 |
| | 学生会員 | 参加+発表 | () | 3,000 |
| 情報交換会 | 正会員 | 参加 | () | 4,000 |
| | 学生会員 | 参加 | () | 3,000 |
| 参加費合計 | | | () | |

3-2 発表論文集原稿の送り方

3-2-1 原稿受付

論文集用原稿はPDFファイルとし、メールの添付ファイルでお送りください。

※ 送付先 3jsssc@juen.ac.jp

3-3 原稿作成の概要

ポスター発表者には論文集の2頁を割り当てます。原稿作成に関する詳細につきましては、5～6頁の説明とレイアウト図をご参照ください。

3-4 受付期限

発表論文集原稿は、2016年5月31日(火)までにお送りください。

3-5 発表の形式

まとめた研究内容を掲示し、パネル前で口頭発表と質疑応答をします。展示パネルの大きさは縦：約150cm、横：約90cmですので、それに見合う大きさに作成してください。

IV 連絡先

①研究大会する問い合わせ先および連絡先

日本教科内容学会第3回研究大会実行委員長 西村俊夫
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷1番地 上越教育大学
E-mail : nisimura@juen.ac.jp
TEL 025-521-3202 (理事・副学長室)

②学会への入会手続きに関する連絡先

日本教科内容学会事務局
〒772-8502 徳島県鳴門市高島字中島748 鳴門教育大学気付
日本教科内容学会のHP(<http://www.jsssce.jp>)を参照してください。

ポスター発表における発表論文集原稿の作成方法

- 1) 論文集用原稿は A4 判で作成し、PDF ファイルで送付してください。
- 2) PDF ファイルはパソコンのワープロソフトで作成し、文字色は黒にしてください。
- 3) 論文の内容は、単に発表・討論の便宜だけでなく、学術的文献としても高い水準を保つようお願いします。また、一つの研究としてのまとまりを考慮し、過剰な量の結果を記載することがないようにお願いします。
- 4) 原則として、研究の目的、方法、結果、考察などの項目に分け、明確に記述して下さい。例えば、「結果の詳細は発表の際に述べる」、「結果については資料を当日配布する」などと書くことがないようにお願いします。
- 5) 発表 1 件あたりの制限とその割り付けは、各発表あたり、論文集の 2 頁を当てます。作成して戴く原稿の 1 頁は、A4 判横書き、2 段組とし、題目、発表者氏名、所属機関名、本文の割付けは、次頁レイアウト図のようにして下さい。
- 6) 題目・氏名・所属・本文の記入方法（レイアウト図参照）
 - ① 「題目」は、4 倍角（普通の文字[全角 10.5 ポイント]の 2×2 字分）程度の大きさで、上から第 1 行目と第 2 行目に記述する。
 - ② 「氏名」は、第 3 行目に記述する。また、連名の場合には責任発表者の氏名の前に○印を付ける。
 - ③ 「所属」は、第 4 行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
 - ④ 「本文」は、10.5 ポイントの文字を用い、「所属」の行から 1 行空けたところ（第 6 行目）から書き始める。
 - ⑤ 会員外の連名発表者については氏名の後に # 印を付ける。
- 7) 図と表の記入法 図や表の記載についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにして下さい。
- 8) 文中写真 写真は図として扱います。

■ポスター発表参加者のスケジュール

○発表申し込みと参加費の期限： 2016 年 5 月 31 日(火)

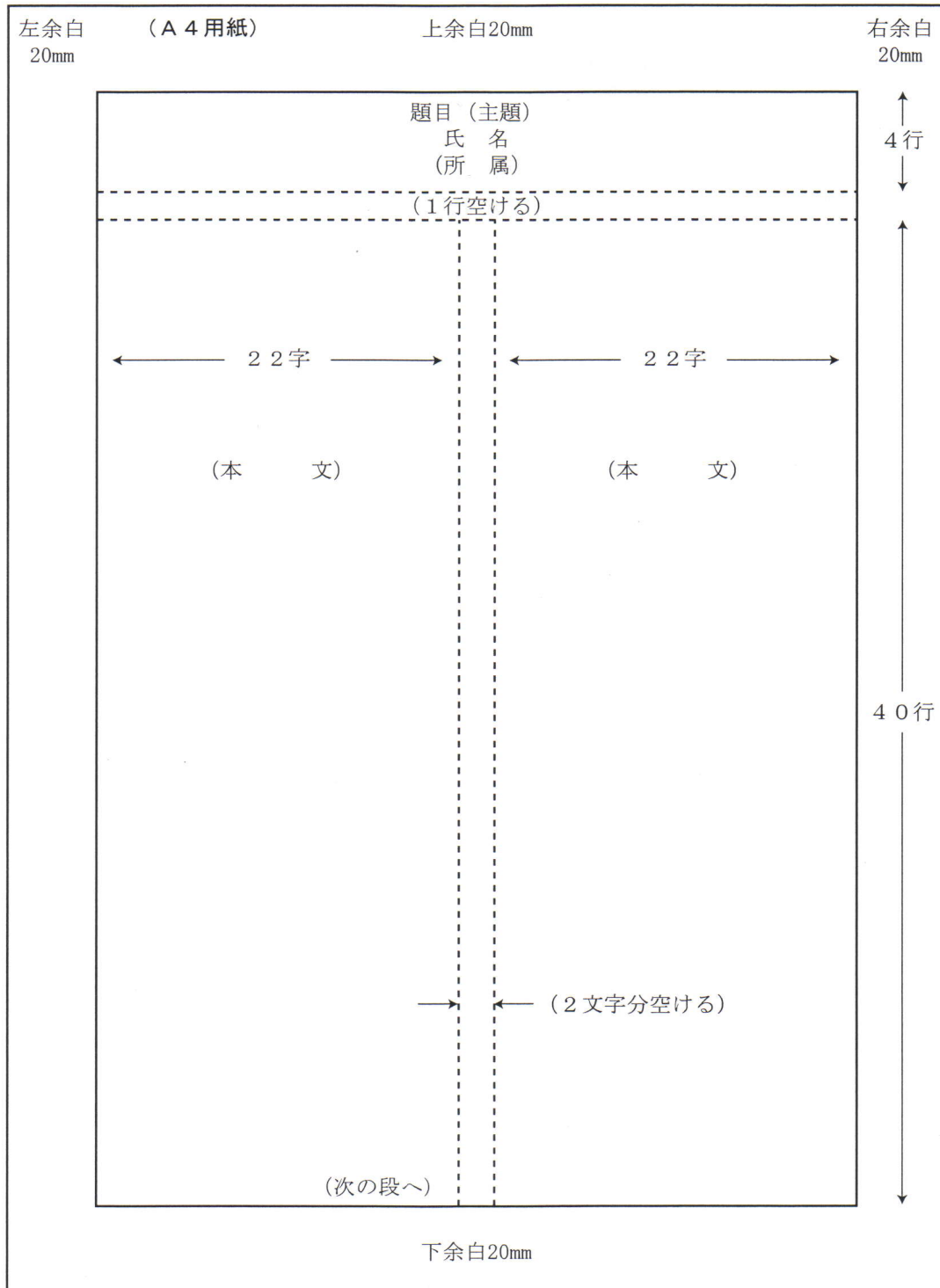
※別ファイル「参加申し込み票」利用のこと

○ポスター発表論文の送付期限： 2016 年 5 月 31 日(火)

※送付先： 3jsssce@juen.ac.jp

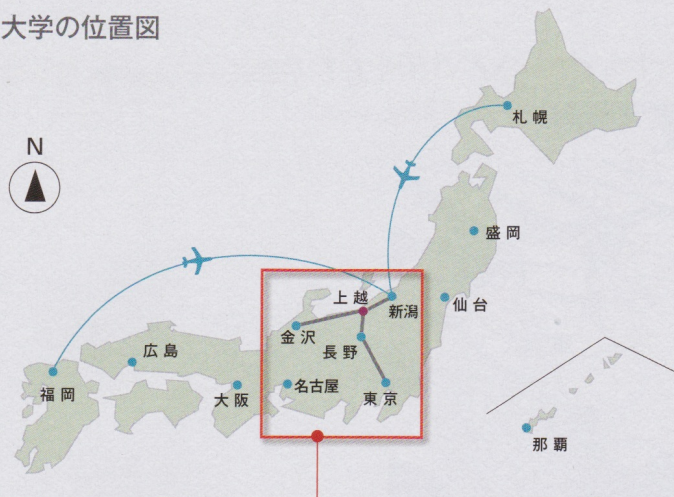
❖1頁目のレイアウト（2頁目は1頁44行（2段組み）となる）

レイアウト図（A4判縦置き）



本学へのアクセス

大学の位置図



上越妙高駅から

上越妙高駅前からタクシー乗車(約15分)

直江津駅から

直江津駅前から教育大学線乗車,教育大学下車(バス・約20分)

直江津駅前から山麓線乗車,教育大学東下車(バス・約15分)

直江津駅前からタクシー乗車(約10分)

春日山駅(上越妙高駅から10分)から

徒歩で30分程度(約2.5km)

高田駅から

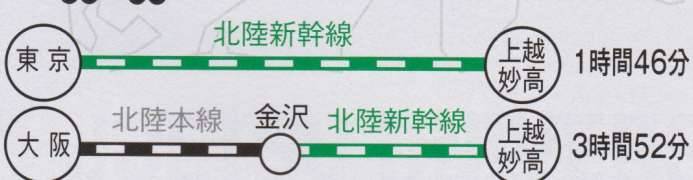
高田駅近くの本町六丁目停留所から

教育大学線乗車,教育大学下車(バス・約15分)

高田駅前からタクシー乗車(約10分)



電車でのアクセス



車でのアクセス

